

平成31年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心で快適なまち
基本方針	住みやすさを感じるまち
基本施策名	安定した水道・下水道事業の運営

	所属	職名	氏名
作成者	上下水道部 経営管理課	課長	奥村 実
評価者	上下水道部	部長	久保田 剛生

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	平成28年度に策定した「安曇野市水道ビジョン」と「安曇野市下水道事業経営戦略」のそれぞれ10年間の投資・財政計画に基づき、施設の耐震化や更新事業、施設の維持管理等を実施しています。また、平成30年度に、地域差のあった水道料金の統一に係る条例改正を行い、令和元年10月から新料金による統一化を図りました。
基本方針 (目指すべき方向性)	良質な水道水の安定供給と水洗化による快適な生活環境を維持するとともに、健全かつ効率的な事業運営を目指します。

2 施策指標

施策指標の進捗状況と分析	上下水道事業は公営企業会計としての継続性と経営の安定化を図っていく必要があることから、料金・使用料収入の確保を図るとともに、一般会計からは繰出基準に基づいた負担を引き続き行います。主要管路耐震化率、水洗化率は収入増加や経費節減につながる指標として、今後も目標達成に向け必要な施策に取り組みます。
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化		
				H29	H30	H31	R 2	R 3	合計	事業区分	新/継	終期		方向性	正規職員数
1	0104420	水道事業負担金	庶務担当(上下水)	59,361,152	59,361,152	59,361,152			178,083,456	定型業務	継続	令和7以降	現状のまま実施することが適切	0.01	
2	0104430	水道事業出資金	庶務担当(上下水)		237,300,000	279,100,000	156,600,000		673,000,000	政策的業務	継続	令和2	現状のまま実施することが適切	0.01	
3	0108550	下水道事業繰出金	庶務担当(上下水)	2,120,881,892	2,107,893,344	1,983,609,240			6,212,384,476	義務業務	継続	令和7以降	現状のまま実施することが適切	0.1	
合計				2,180,243,044	2,404,554,496	2,322,070,392	156,600,000		7,063,467,932						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	公営企業として水道料金・下水道使用料収入を財源とすることが基本ですが、人口減少に伴い収入の減少が予測されることから、より効率的な事業経営を行う必要があります。また、受益者負担の公平性から引き続き収納率向上と未収金対策に努める必要があります。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	人口減少時代を迎え、経営の持続性の観点から、水道施設の適正規模化や下水道施設の統廃合を検討し、具体化していく必要があります。